

文部科学大臣賞

重粒子線治療の研究開発と普及

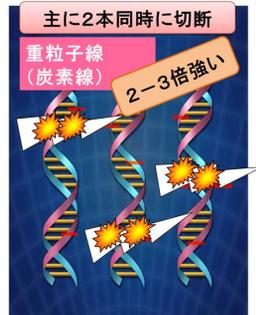
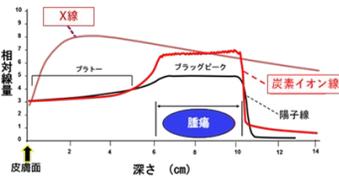
<受賞者>

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門（千葉県）

<功績>

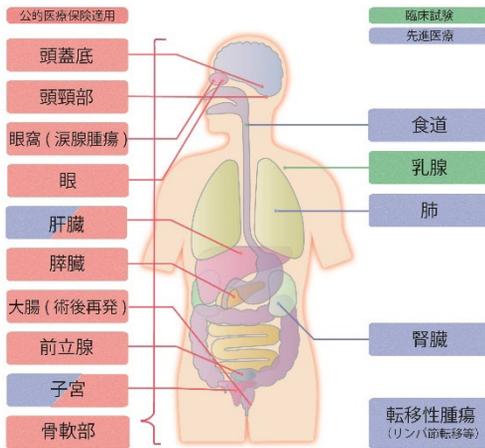
革新的ながん治療法である重粒子線治療の研究開発を世界に先駆けて行い、多くのがん疾患に対する有用性が確認され保険適用化された。日本発の革新的な治療法であり国際的にも普及が進んでいる。

高い線量集中性と高い生物学的効果 新たな重粒子線治療装置の開発

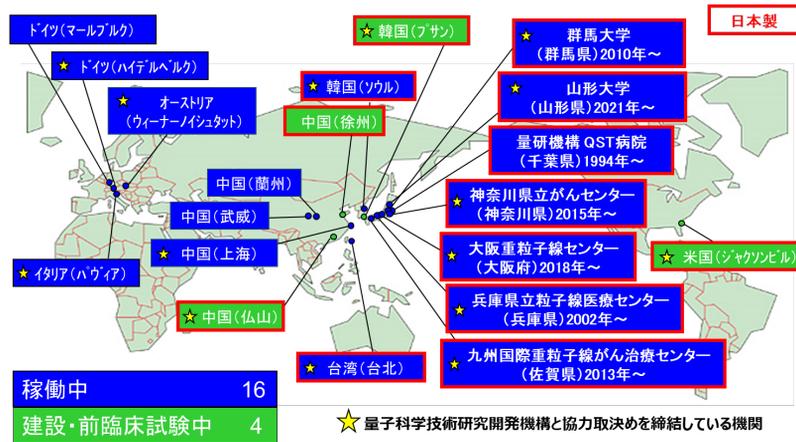


回転ガントリー治療室

多くのがん疾患への保険適用



国内外への重粒子線治療装置の普及



<概要>

- 重粒子線治療は患部に集中して高い線量を与えることができ、かつ強力な生物効果を持っているため、副作用が少なく、効果の高い治療が可能ながん治療法である。
- 1994年に日本で研究開発がスタートし、世界に先駆けて多くのがん疾患に保険適用され、国民に広く提供できるようになった。
- 日本が世界をリードする革新的ながん治療法であり、世界の重粒子線治療施設の約半数が日本で稼働している。